

《 コース名 》

講座名「 変わりゆく国際情勢 を読み解く 」

1 趣 旨

近年、国際情勢は大きく変化しています。また、国際情勢の変化は、冷戦後急速に進んだグローバル化のもと、各国の状況が互いに影響を与え複雑に絡み合っているため、理解が難しいものになっています。近年の国際情勢について基本的なところから読み解き、報道されている様々な事象の背景に迫っていきましょう。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール は実施しません

3 曜日・時間

土 曜日 午後 2 時 ～ 午後 4 時

4 講座コーディネーター

道上 真有 / 長谷川 雪子 (新潟大学経済学部 准教授)

5 プログラム (テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です)

テーマ	内 容
序論：変わりゆく世界	近年、米国主導の国際秩序から、長引く中東の混乱や中国の台頭などにより状況が変わりつつあるといわれています。冷戦後から現在にかけての国際状況を概観します。
中東と世界：エネルギー問題と宗教	世界の火薬庫といわれる中東が抱える問題の根底にある、石油の問題、宗教的対立などについて学習します。
アラブの春とその後 — 政治的混乱とテロリズム—	中東各地で発生した民主化運動から数年、現在は混乱と内戦、イスラム国の出現など、状況が悪化している中東で何が生じているか学びます。
EUの現在	難民の受け入れ、イギリスの脱退、ユーロ圏の構造的な問題など、様々な問題を抱えているEUの現状を学びます。
アメリカはどこへ向かおうとしているのか	過激な言動が目立つトランプ政権ですが、実際にどのような政策をとっているのでしょうか。 政権の経済政策・対外政策を中心に学びます。
「大国」中国のこれから	世界第2位の経済大国となり、米国に迫る存在感を發揮している中国の「一帯一路」構想などの思惑と、少子化、所得格差などの内在する課題について学びます。
ロシアの停滞と目指す方向性	資源価格の下落と、対ロシアの経済制裁の影響を受け、低迷が続くロシアの現状と課題を学びます
北朝鮮の経済	ミサイル発射など緊張が高まる北朝鮮関係ですが、経済制裁のもと、経済はどのような状況にあるのでしょうか。北朝鮮の経済動向を学びます。
東南アジアの成長とリスク	経済発展の著しい東南アジアの現状と抱えるリスクについて学びます。
地方から海外へ—地方企業の海外戦略—	地方の企業も縮小する国内市場から海外に目を向けています。急速に変化する国際情勢の中、どのような戦略をとり、どのような問題に直面しているのか学びます。

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「 テレビ・過去現在未来 」

1 趣 旨

昭和の時代、茶の間の主役だったテレビ。若者たちはテレビコンテンツをスマートフォンで見るなど視聴スタイルは変わっていますが、発信する大規模な情報を幅広い層に伝えるメディアとしては依然その影響力は大きいと考えます。

過渡期にあるテレビについて多面的に考察する講座をご提案させていただきます。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

曜日 午後 時 ～ 午後 時

4 講座コーディネーター

新潟大学人文学部人文学科准教授 (メディア文化論) 古賀豊氏

5 プログラム (テーマは25字以内, 内容は60字以内が目安です)

テーマ	内 容
テレビの歴史	1953年2月にNHKがテレビ放送をスタートしてから64年。テレビが伝えてきたもの・こと、テレビの歴史についてできればNHKさんから解説してもらいます。
テレビが伝えた歴史の瞬間	テレビ映像のアーカイブから、テレビが伝えた歴史の瞬間や新潟の季節・文化・風景を鑑賞します。 新潟大学人文学部 原田健一教授もしくは報道カメラマンOB ※ 映像はBSNアーカイブ映像使用可能です
2018年、テレビの現状	テレビコンテンツはスマホで見られている時代、2018年のテレビの現状は？ 新潟大学人文学部人文学科 古賀豊准教授
マーケティングから検証するテレビの今	産業としてのテレビを、マーケット分析とともに検証します。広告代理店の視点からお話しいただければ。
視聴率から検証するテレビの今	視聴率から見るライフスタイルの変化、テレビの見られ方について、ビデオリサーチさんに聞きます。
ヒット番組の裏側	過去から現在に至るまで、ヒット番組には他の番組にはない何かがある。その秘密を日経エンターテインメントの品田英雄氏に聞きます。
テレビ番組制作のバックヤードツアー	テレビの番組がどのように作られているのか、実際にテレビスタジオ見学をし、番組プロデューサー等から話を聞きます。 ※ BSNで対応可能ですが、局バランス要検討。
県内各局アナウンサーが語る「テレビの魅力」	県内各局のアナウンサーにフリートークをしてもらいます。
4K・8Kって何？	アナログからハイビジョン、そして時代は4K・8Kへ。変わっていくテレビ映像について学びます。 講師は県内放送局技術担当 (BSN小林技術局長など)
テレビの未来は明るい	これからテレビはどうなっていくのか、専門家の考察を伺います。 放送批評懇談会委員 氏家夏彦氏

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 人間理解コース 》

講座名 「 自閉症の世界 」

1 趣 旨

自閉症スペクトラム（以下、自閉症）は、対人コミュニケーションの困難さや、こだわりの強さ特徴とした発達障害の1つです。現在、自閉症と診断される人は100名に2から4人とも言われていますが、自閉症についての理解が不十分であるために、様々な悩みを抱えながら生活している方がいることも事実です。そこで、この講座では、自閉症について深く学び、自閉症の人とそうでない人のものの感じ方や他者や社会との関わり方を理解することで、自閉症に対する見方を再考します。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

曜日 午後 時 ～ 午後 時

4 講座コーディネーター 未定

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内 容
自閉症スペクトラムとは	自閉症スペクトラムとは？発達障害における自閉症の分類や定義について学びます。
自閉症の診断	自閉症の発症率、診断の変遷について学びます。
自閉症はなぜ起こる？：遺伝 vs. 環境	自閉症の原因はまだ解明されていません。遺伝か環境かという問いから生まれたこれまでの仮説について学びます。
脳から見た自閉症	自閉症の脳の特徴についての最新の知見を学びます。
自閉症と感覚過敏	自閉症に特有の音や光の感じ方とは？どのように対処したら良いのかを学びます。
他者と関わる心のはたらき	自閉症の人とそれ以外の人たちが、それぞれどのように他者や社会と関わっているかについて学びます。
何かに集中する心のはたらき	自閉症の人が持つ、こだわりや集中力は、時に独自の才能にもつながることもあります。そうした事例を紹介します。
子どもの自閉症	幼児期、児童期から青年期までに見られる自閉症の行動特徴や普段の生活で生じる問題を取り上げます。
大人の自閉症	家庭や職場において生じる問題の具体例を上げながら、家族や周囲の対応方法について考えます。
自閉症と発達支援	自閉症に生じやすいうつ病などの二次障害の問題を取り上げ、ケアや支援の方法について学びます。

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「文字の文化史～手書き文字は消えるのか？～」

1 趣 旨

私たちが使用する文字は、元々は神を祀り、神託をきく儀式から誕生しました。以来、甲骨文・金石文・印章・木簡・紙と筆記用具が進化するとともに文字の使用意義も変化し、書芸術まで発展してきました。一方では昨今の目覚ましい電子機器の発達にともない、文字を「書く」ことが日常生活から失われようとしています。東アジア固有の文化である「書く」ことの歴史を振り返り、見直す機会となれば幸いです。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間 金曜日 午後7時 ～ 午後9時

4 講座コーディネーター 新潟大学教育学部 書道専修の先生

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内容
はじめに 文字の文化史の概要	文字は象形文字から始まり印刷文字へと三千年進化し続けています。時代とともに変化する文字の生い立ちを紹介します。
文字を「書く」から「打つ・触る」へ	私たちが日常生活で意思伝達する筆記用具が、毛筆、ペンからパソコン、携帯、スマートホンへと変化しています。気持ちを伝える便利さとその弊害に迫ります。
始まりは文字を「刻む」こと	今日伝わる文字として古いのは、中国殷時代の甲骨文で、その後青銅器に鑄込まれた金文文字へと変化します。そこには、神を祀り、神託をきく儀式から誕生した背景を紹介します。
文字を石に「彫る」こと	後世に永く伝えたい文章を記すため、漢時代から石碑が建立されるようになります。石碑に残すことの意義について考えます
新潟の石碑	新潟には江戸時代から現代まで顕彰碑、記念碑、文学碑などがあります。石碑から新潟の歴史や文化を顕彰していきます。
はんこ今昔	世界でもまれに見るハンコ社会である日本でのハンコ利用の歴史を辿り、日本人がどのように印章を利用し生活に浸透していったのかを再認識していきます。
紙の出現と古文書	紙の出現により重要な言葉を記録する古文書が発達してきました。越後・佐渡に残された近世・近代文書の特徴や背景となる時代の仕組み、生活・慣習・風俗・人々の意識等を探ります。
書を美しく書くこと（書家の出現） ～新潟の書の伝統と変容～	良寛、巻菱湖、會津八一ら書人を輩出した新潟は書道が盛んな県として注目されています。新潟の書の伝統を紹介します
印刷技術	印刷技術の発達にともない、活字やフォントの視覚的なアピールが広告の商品価値が深められていく実態を迫ります。
まとめ 文字を「書く」ことの変容	文字が均一化しなおかつ大量生産できるものに変化していくなかで、個別化された「手書き文字」が無くなってしまおうのか否か進むべき方向性を探ります

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「人生の節目を考える：こころの健康を保つために」

1 趣 旨

人生にはいくつかの節目があります。心理学的にはそれを“発達課題”と呼んでいます。それぞれの発達課題とは何なのでしょう？そしてその節目を乗り越え、こころの健康を保つためには何が必要なのでしょう？子どもから大人になるためにいくつもの関門を通り、社会に出て親になるまでの道のりがあり、社会人として様々なストレスにさらされて、自身の老いと向き合うとき人は何を思うのでしょうか？超高齢社会に生きる私たちが、自分自身や家族のこころの健康を保つために知っておきたい知識や対処法を学んでいきたいと思えます。

2 学習方法

前期 講義のみ 後期——ゼミナール 等

3 曜日・時間

金曜日 午後 7時 ～ 午後 9時

4 講座コーディネーター

新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科 臨床心理学研究科長・教授 本間恵美子先生

新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科 臨床心理センター長・教授 中村協子先生

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内容
幼児期のこころの発達と問題	こころが大きく発達していく幼児期にはどのような変化があるのか、またそれにともなつてどのような問題が起きやすいのかについて学んでいきます。
子どもからおとなへ：10代のこころを考える	子どもからおとなに向かって質的に変化していくこころの発達と、それを支えている周囲の人たちとの関係について考えていきます。
若い成人期をどのように生きていくのか	20代を中心とした若い成人期には初めての就職など、人生の大きな節目となる出来事も多いです。どのような生き方をしていくのか、臨床心理的な視点から考えていきます。
子育て期の悩みと親子関係	子どもが誕生することで家族は大きく変わります。現代は少子化など子育てをめぐる環境も変化しています。そのような中でどのような子育てを巡る悩みが起きるのかについて理解していきます。
不安・うつ：こころの悩みを理解する	多くの人たちがかかえることのある心の問題として不安やうつについて、その実態と仕組みを理解していくことで、こころの健康を保つことについて考えていきます。
メンタルヘルス・ストレス対策	働く人のためにストレスチェック制度が導入されました。メンタルヘルス対策にはストレスに気付き、どう向き合うかが課題になります。ストレスとの付き合い方について学びます。
自殺予防	新潟県の自殺動向を分析し、自殺予防に向けた取り組みと心構えについて学びます。
認知症を知る	高齢化に伴い認知症は増え続けています。認知症についての正しい知識とその支援のあり方について学びます。
<公開講座希望>回想法について	認知症や高齢者のこころの健康に、自分の人生を振り返る「回想法」の効果が言われています。「回想法」を学んで自分の人生を振り返ってみましょう。
まとめ；こころの健康を保つために	人は一人では生きられない。人と関わり誰かに話しを聞いてもらうことで心が落ち着いた経験は誰にもあると思えます。“話を聴く”とはどういうことなのかを一緒に考えます。

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「にいがた De アート」

1 趣 旨

芸術と技術の分離が進んだのは産業革命以降です。ルネサンス時代、両者はアルス（ARS）というひとつの領域でした。だからミケランジェロは、彫刻も絵画も木彫も建物設計も都市設計もできたのです。しかし、現代社会では高度な芸術を維持するのが難しくなりました。解決策のひとつは、再び芸術を技術と融合して日常生活の中に取り込むことではないでしょうか。造形、音楽、建築などを例にして、「現代のアルス」について考えてみましょう。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール

3 曜日・時間

土曜日 午後 13 時 ～ 午後 15 時

4 講座コーディネーター 橋本 学（新潟大学工学部・人間支援感性科学プログラム、准教授）

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内 容
アルス入門：現代社会におけるアートのありかた	現代社会はアートにあふれている。が、単に商品として消費しているだけにも見える。アートはくらしの中でどうあるべきか、考えてみたい。 講師：橋本 学（デザイナー、新潟大学・准教授）
造形作品のあるべきところは？	家庭のガラス器、陶器から都市のオブジェまで、造形作品は身のまわりにあふれている。暮らしと造形との広くて深い関わりについて述べる。 講師：郷 晃（彫刻家、新潟大学・教授）
デザインは芸術か？	ファインアートとデザインはどう違うのか？身のまわりのさまざまなもののデザインを通して、デザインの意義と魅力について語る。 講師：橋本 学（デザイナー、新潟大学・准教授）
アートプロジェクトとはなにか？	大地の芸術祭、水と土の芸術祭など、全国で地域が中心となったアートプロジェクトがさかんだ。その社会的意義と将来性について考える。 講師：北川フラム（アートディレクター）
クラシック音楽はお好きですか？	クラシック音楽も、かつてはサロンや劇場の現代音楽だった。当時と同じように、多くのひとが親しめるクラシック音楽のあり方を考える。 講師：田中幸治（ピアニスト、新潟大学・准教授）
オーケストラはどこに行く？	オーケストラは大勢の演奏家を必要する強大な楽器だ。オーケストラの魅力と大衆社会の中で維持する方策について考えてみたい。 講師：右近大次郎（指揮者、日本大学・非常勤講師）
作曲家とはどんな職業なのか？	町も家も音楽であふれている。すべてだれかが作曲した曲だ。作曲家とはどんな職業で、どんなふうに行事しているのか、私見を述べる。 講師：清水研作（作曲家、新潟大学・教授）
どうして地域のアーティストは元気なのか？	いま地域のアーティストが元気だ。プロとアマが協働で、さまざまなアートプロジェクトが行われている。具体例を通して、元気の秘密を探る。 講師：林 豊彦（古楽奏者、新潟大学・教授）
建築と街づくりは芸術か？	建築物は、どの国のどの時代でも最も身近なアートのひとつだ。人はどうして、美しい建物や街並みにあこがれるのか、考えてみたい。 講師：西村伸也（建築家、新潟大学・教授）
劇場専属舞踊団「ノイズム」のめざすもの	日本初の劇場専属舞踊団「ノイズム」は2004年、新潟で誕生した。世界にも発信しているノイズムがめざす舞踊芸術とその将来について語る。 講師：金森 穰（舞踏家、ノイズム芸術監督）

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「 鉄道のみち 新潟 」

1 趣 旨

新潟都市圏は、江戸時代から港町として栄え、港湾都市として整備されてきました。やがて、農業生産物をはじめとした新潟圏の物流や日本海側を縦貫する物流の要として、鉄道網が敷設され、鉄道の拠点としても栄えてきました。鉄道のまち「新潟」から全国を視野に鉄道の歴史と未来を考えて見ましょう

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

曜日 午後 時 ～ 午後 時

4 講座コーディネーター

新津鉄道資料館

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内容
鉄道のまち 新潟・新津	
新潟と日本の鉄道文化史	
新潟の廃線を行く	
日本の鉄道文化史 － 十河信二を語る －	
上越，北陸新幹線での技術革新 克雪，MAX	
SL 磐越物語 SL の復活から，観光列車へ	
てつたび の魅力（中井精也）公開	
鉄道を災害から守る最前線	
新たな鉄道の魅力 イベント列車の未来像	現美新幹線，雪月花，四季島
これからの鉄道と交通	

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「ロコモティブ・シンドローム（運動器症候群）を学ぶ
ーメタボとともにロコモを知ろう」

1 趣 旨

ロコモティブ・シンドローム（骨、関節、筋肉など運動器の障害や衰えなどによって、歩行をはじめ日常動作が困難になるリスクが高まる状態）は、中・高年の方々の日常生活が大きく阻害される要因です。ロコモを予防して健康寿命をのばすよう皆で勉強しましょう。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等
実技を数回

3 曜日・時間

曜日 午後 時 ～ 午後 時

4 講座コーディネーター 新潟医療福祉大学 大森 豪 教授

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内容

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「 健やかな食生活を送るために 」

1 趣 旨

食事風景が変わったといわれて久しくなりました。食べ方が変われば、私たち自身の健康状態が変わるように、暮らし方や社会環境のしくみまでも変わっていきます。皆さんと一緒に、移ろう食卓に注目するだけでなく、その向かう側にも目を向けて、より健やかな生活を送るために食べることを考えてみたいと思います。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

土 曜日 午後 2 時 ～ 午後 4 時

4 講座コーディネーター 小西 徹也氏

5 プログラム (テーマは25字以内, 内容は60字以内が目安です)

テーマ	内 容
食薬同源	健康とは、食養と食療、未病改善、食品機能の応用
栄養学の歴史	栄養学からみた食、必須栄養素の考え方ができた背景
日本型食生活の特徴	近代の食、和食、食料自給率の動向 地産地消
食料生産と環境	農(林水産)業生産にまつわる諸問題 温暖化と農作物
食の健康機能とアグロメディシン (農医連携)	一次機能、二次機能、三次機能の考えから
新しい食品加工技術	食べさせる為の工夫
感性工学	消費者心理と食品感性
食と運動	「食事」「運動」「睡眠」健康維持の三要素
宇宙食	宇宙食と日本の食文化
アンチエイジング	楽しい老後の創造と食

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名 「 現代の社会生活を工学・理学で解決する。 」

1 趣 旨

新潟市民が社会生活で見聞きする、新潟の特色あるものづくりや都市計画、地球環境問題、最新の科学技術に関する話題など様々な分野において、長岡技術科学大学及び長岡工業高等専門学校が得意とする工学・理学の視点でわかりやすく解説します。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

土曜日 午後 1時 ～ 午後 3時

4 講座コーディネーター

中出文平（長岡技術科学大学副学長）、村上能規（長岡工業高等専門学校教授）

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内 容
人口減少社会のまちづくり 中出文平（長岡技術科学大学教授）	人口減少が目に見えて進みつつある現代都市で、目指すべき都市像としてのコンパクトシティとはどういう考え方で、市民の生活はどう考えられ、どう変わっていくのかを解説します。
最新の科学で伝統の発酵を研究する 小笠原渉（長岡技術科学大学教授）	世界中に広がる発酵ワールドを紹介し、その発酵を最新の科学で読み解き、食品、酒、健康、地球環境に微生物がどのように関連しているのかを解説します。
お米の栄養学 菅原正義（長岡工業高等専門学校教授）	新潟の誇る日本人の主食「お米」には、多くの体に良い栄養成分が含まれています。これらの成分の働きをわかりやすく解説します。
社会基盤を支えるコンクリート構造物の長寿命化 村上祐貴（長岡工業高等専門学校准教授）	わたしたちの生活基盤を支える、道路、橋、トンネル等のコンクリート構造物の現状について、維持管理の観点から紹介します。
流体工学を駆使した製品作り 高橋勉（長岡技術科学大学教授）	水や空気の流れには様々な形のうずが存在しています。うずを上手く制御することで付加価値の高い製品を作ることができます。流体の性質や渦を利用した革新的な製品について解説します。
『アインシュタインからの最後の宿題』は解決されたのか？ 高橋弘毅（長岡技術科学大学准教授）	宇宙の謎を解き明かすための重力波、それを用いた「重力波天文学」の幕開けと大型低温重力波望遠鏡 KAGRA（かぐら）の現状を解説します。
時代は省エネから創エネへ！雪国にいがたから発信する太陽電池？ 片桐裕則（長岡工業高等専門学校教授）	太陽光発電の心臓部である太陽電池の原理と、雪国「にいがた」で生まれた新しい太陽電池を紹介します。
水と土壌をひもといて持続可能な社会をつくる 山口隆司（長岡技術科学大学教授）	新潟には豊かな水があり、ブランドとなっている農産物や食料加工品があります。世界と日本の水環境の現状、食料と水の見聞、水浄化技術、および名水・飲み水の話について触れます。
地球温暖化、異常気象、豪雨災害 熊倉俊郎（長岡技術科学大学准教授）	気象現象は私たちの日常の一部です。その割にはあまり詳しく知られていない、地球温暖化の最新状況や、異常気象とは何か、また豪雨災害などの気象メカニズムについて解説します。
大気環境問題における最近の話題と環境浄化技術の進展 村上能規（長岡工業高等専門学校教授）	オゾン層破壊、PM2.5、放射能汚染など、最近は大気環境の話題に事欠きません。化学の視点から大気を見つめなおすとともに、各種空気浄化技術を紹介します。

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「 **日常生活を科学する**
—新潟発・現代の社会生活を工学・理学で解き明かす—解決する。」

1 趣 旨

新潟市民が社会生活で見聞きする、新潟の特色あるものづくりや都市計画、地球環境問題、最新の科学技術に関する話題など様々な分野において、長岡技術科学大学及び長岡工業高等専門学校が得意とする工学・理学の視点でわかりやすく解説します。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

土曜日 午後 1時 ～ 午後 3時

4 講座コーディネーター

中出文平（長岡技術科学大学副学長）、村上能規（長岡工業高等専門学校教授）

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内容
人口減少 時代社会 のまちづくり 中出文平（長岡技術科学大学教授）	人口減少が目に見えて進みつつある現代都市で、目指すべき都市像としてのコンパクトシティとはどういう考え方で、市民の生活はどう考えられ、どう変わっていくのかを解説します。
驚きの発酵・ザ・ワールド—伝統の発酵を最新の科学で読み解く研究する— 小笠原渉（長岡技術科学大学教授）	世界中に広がる発酵ワールド（具体的には？） を紹介し、その発酵を最新の科学で読み解き、食品、酒、健康、地球環境に微生物がどのように関連しているのかを解説します。
お米の国の人だから—お米の栄養学— 菅原正義（長岡工業高等専門学校教授）	新潟の誇る日本人の主食「お米」には、多くの体に良い栄養成分が含まれています。これらの成分の働きをわかりやすく解説します。
社会基盤を支えるコンクリート 構造物の長寿命化 村上祐貴（長岡工業高等専門学校准教授）	わたしたちの生活基盤を支える、道路、橋、トンネル等のコンクリート構造物の 現状について、維持管理の観点から（わかりやすく？） 紹介します。
ラケットから扇風機まで—流体工学（具体的に）による製品作り— 高橋勉（長岡技術科学大学教授）	水や空気の流れには様々な形のうずが存在しています。うずを上手く制御することで付加価値の高い製品を作ることができます。流体の性質や渦を利用した 革新的な製品（具体的に？） について解説します。
『 アインシュタインからの最後の宿題 』は解決されたのか？ 高橋弘毅（長岡技術科学大学准教授）	宇宙の謎を解き明かすための 重力波 。←それを用いた「重力波天文学」の幕開けと大型低温重力波望遠鏡 KAGRA（かぐら）の現状を解説します。
時代は省エネから創エネへ！雪国に いがたから発・信する太陽電池？ 片桐裕則（長岡工業高等専門学校教授）	太陽光発電の心臓部である太陽電池の原理と、雪国「 いがた 」で生まれた新しい太陽電池を紹介します。
水と土が 壤をひもといて 持続可能な社会をつくる（ おいしい水など入れる ） 山口隆司（長岡技術科学大学教授）	新潟には豊かな水があり、 ブランドとなっている農産物や食料加工品（具体的に？） があります。世界と日本の水環境の現状、 食料と水の見聞（具体的に？） 、水浄化技術、および名水・飲み水の話について触れます。
地球温暖化、異常気象、豪雨災害は地球からの警告か—気象メカニズムを探る— 熊倉俊郎（長岡技術科学大学准教授）	気象現象は私たちの日常の一部です。その割にはあまり詳しく知られていない、地球温暖化の最新状況や、異常気象とは何か、また豪雨災害などの気象メカニズムについて解説します。
大気環境 問題における最近の話題と 環境浄化技術の 未来進展 村上能規（長岡工業高等専門学校教授）	オゾン層破壊、PM2.5、放射能汚染など、最近は大気環境の話題に事欠きません。化学の視点から大気を見つめなおすとともに、各種空気浄化技術を紹介します。

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「 開港 150 周年記念

開港都市に選ばれた「新潟」－その歴史と魅力－

1 趣 旨

新潟は函館・横浜・神戸・長崎と共に、安政五カ国条約によって開港地に指定され、明治元年に開港しました。

なぜ、新潟は開港5港の一つに選ばれたのでしょうか？本講座では、開港都市に選ばれるに至るまでの新潟、そしてその後の新潟を様々な切り口から検証し、「新潟」を浮き彫りにします。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

曜日 午後 時 ～ 午後 時

4 講座コーディネーター

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内容
「開港前夜の新潟」 ～江戸時代の新潟～	開港前夜となる江戸時代の「新潟」はどんな様子だったのでしょうか。我々の先祖が暮らした江戸時代の「新潟」へタイムトリップします。
「北前船」が運んだもの① ～板子一枚下は地獄～	江戸中期から明治中頃まで、蝦夷（北海道）と大阪の間を、結ぶ日本海航路に就航した廻船の北前船。各地に大きな影響を与えた「北前船」の概要を見て行きます。
「北前船」が運んだもの②	北前船最大の寄港地であった新潟。商品のみならず、北前船によって、様々な文化がもたらされました。豪商と料亭文化と花柳界などを概観します。
「北前船」が運んだもの③ ～まつりと「新潟」～	まつりの歴史を紐解くと、そのまちの歴史が見えてきます。海の安全を祈り、田の収穫を祝う「新潟」の祭りの歴史を通し、新潟を見つめ直します。
「開港5港」に選ばれた新潟	新潟が開港5港であったことは、あまり知られていないのではないでしょうか？なぜ新潟が開港5港に選ばれたのか、他の港との比較などを通し検証していきます。
「新潟」の食① ～にいがたの郷土料理～	にいがたの食の歴史を紐解くとともに、「食」を通し新潟の地域性を考えます（郷土料理、発酵食品、米、酒、）。
「新潟」の食② ～ショック？洋食～	開港によりもたらされた洋食。当時の洋食の様子や、人々がどのように洋食を受け入れたのかを見ていきます。
「柳都」新潟のまちなみ ～堀と暮らす～	新潟市にはかつて多くの堀が張りめぐらされていました。物流の動脈としての堀、そして堀がもたらした文化的側面を概観します。
「新潟」の交通網 ～船から鉄道へ～	舟運から鉄道、そして交通道路。交通網の変遷における、産業や我々のくらしの変化を考えます。
これからの港町にいがた	

※講座番外編

「150年前にタイムスリップ。開港当時の洋食を食べよう！！」

開港当時、新潟の人々はどんな「洋食」を食べていたのでしょうか？また、洋食はどのように受け入れられたのでしょうか？実際に当時の「洋食」を食べながら、一緒にタイムトリップしましょう。

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

《 コース名 》

講座名「最新がん治療」

1 趣 旨

がんは、2人に1人はかかると言われるほど身近な病気になっており、国民の3大死因のトップになっています。こうした背景を踏まえ、がんにならないための生活や、がんの最先端治療、そして食生活や運動を通しての予防等を市民に向けて発信します。

2 学習方法

前期 講義

3 曜日・時間

土曜日 午前10時 ～ 正午

4 講座コーディネーター

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内 容
知って安心！ ～がんの基礎知識～	主な死因別死亡率、男性・女性の死亡率の高いガン、がん細胞のメカニズムなど
「がん」の予防と早期発見のポイント ～変わるがん医療～	がん対策基本法や国の第3期がん対策推進基本計画、新潟市の予防等の取り組み、早期発見のポイントなど
最新①「肺がん治療」	具体的な症例を基に、治療方法・効果の紹介など
最新②「大腸がん治療」	〃
最新③「放射線治療」 ～切らずに治す～	〃
最新④「薬で治すがん治療」 ～がん細胞を狙い撃ち！～	がん治療で使用される主な抗がん剤、免疫療法、分子標的薬などの効果、副作用など
「緩和ケア」とは	痛みを和らげる方法や仕組みなど
「がん」と食生活について	バランスの良い食事の効果的な食べ方や免疫力を上げるためのメニュー作りなど
毎日の運動習慣が大切！ ～「がん」リスク減少か	運動習慣が「がん予防」や健康にもたらす効果など
「がん」と明るく生きる ～仕事、日常生活を楽しむ～	医学が進歩し、5年生存率が高くなり、死に直結するものから長期間付き合い、抱えていくものへと変化

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。